

## 研修レポート

名古屋第一赤十字病院 研修医

平成 28 年 10 月 31 日から 11 月 25 日の 4 週間、総合診療科で研修させていただき大変お世話になりました。日々ご指導下さった先生方をはじめ、病棟や外来の看護師さん、病院事務の皆様、リハビリ科や MSW の皆様、慣れない環境でご迷惑も沢山お掛けしたかと思いますが、親身に接して下さりありがとうございました。また、新城市民病院総合診療科を初診でいらっしゃった患者さま、診察を担当させて頂きありがとうございました。最初にお礼を申し上げたいと思います。

4 週間という期間はほんとうにあっという間で、高血圧や糖尿病をはじめとする慢性的な疾患と付き合っている患者さまの病気のコントロールや、骨折などでリハビリテーションが必要な患者さまの回復の過程など全てをみることは難しかったですが、今回の研修を通してその一端を学ぶことが出来たと思います。普段所属する急性期病院・病棟とは異なる病気へのアプローチを学ぶことができました。また、訪問看護や訪問リハビリテーションに同伴させていただき、患者さんの生活する家の環境の中での療養生活を身近に感じることができました。自身の祖父母を自宅で介護し家族で看取った経験を思い出し、自分も医師として患者さんの生活に寄り添った医療を提供できるように研修を積んでいきたいと感じました。

訪問看護への同伴では、後日皆様の心遣いが嬉しく思ったことがありました。伺った利用者さまの胸の聴診をした際、心雑音を認めましたが特に訪問看護記録に記載を見つけられず、既に指摘されてフォローされていれば良いのですが、と心配しておりました。訪問看護師さんが後日かかりつけの先生に確認をして下さった様で、心雑音は既に指摘を受けていて心配ないことをわざわざお電話下さったということでした。

新城市民病院での 4 週間を通して、上級医の先生の診察手法や問診から、自分の手技や診察の未熟さを反省する点が多くありました。日々のカンファレンスや診療を通じて得られた反省を生かし、初心を忘れずに研鑽に励みたいと思います。みなさま今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。